

沖繩県経済動向

平成 26 年 8 月 13 日

沖繩県企画部企画調整課

沖縄県経済動向

景気は、拡大している。

※指標は平成26年4月～6月期、増減率は前年同期比とする

【観光】

- ・ 入域観光客数は、好調に推移しており、航空路線の拡充により、前年を上回っている。外国客は高い増加率で推移している。
(総数 +13.6%、国内客 +8.5%、外国客 +52.0%)
- ・ 主要ホテル客室稼働率は、前年を上回って推移している。
(客室稼働率 75.7%、+6.0)

【個人消費】

- ・ 百貨店・スーパー・コンビニ売上高は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減の影響により、既存店は前年を下回ったが、全店舗では新規出店効果等で前年を上回った。
(売上高 既存店 △1.0%、全店舗 +0.7%)

【建設関連】

- ・ 住宅着工は、戸数・面積ともに前年を上回って推移している。また、非居住建築物工事費については、前年を大幅に上回っている。
(住宅着工面積 +29.3%、非居住建築物工事費 +99.0%)
- ・ 公共工事請負保証額は、前年を上回っている。(公共工事請負保証額 +31.9%)

【雇用情勢】

- ・ 完全失業率は8四半期連続で前年を下回り、改善している。(完全失業率 5.5%、△0.8)
- ・ 有効求人倍率は、前年を上回って推移している。6月の有効求人倍率 0.68 は、月間の有効求人倍率の復帰後最高値である。(有効求人倍率 0.65 倍、+0.14)

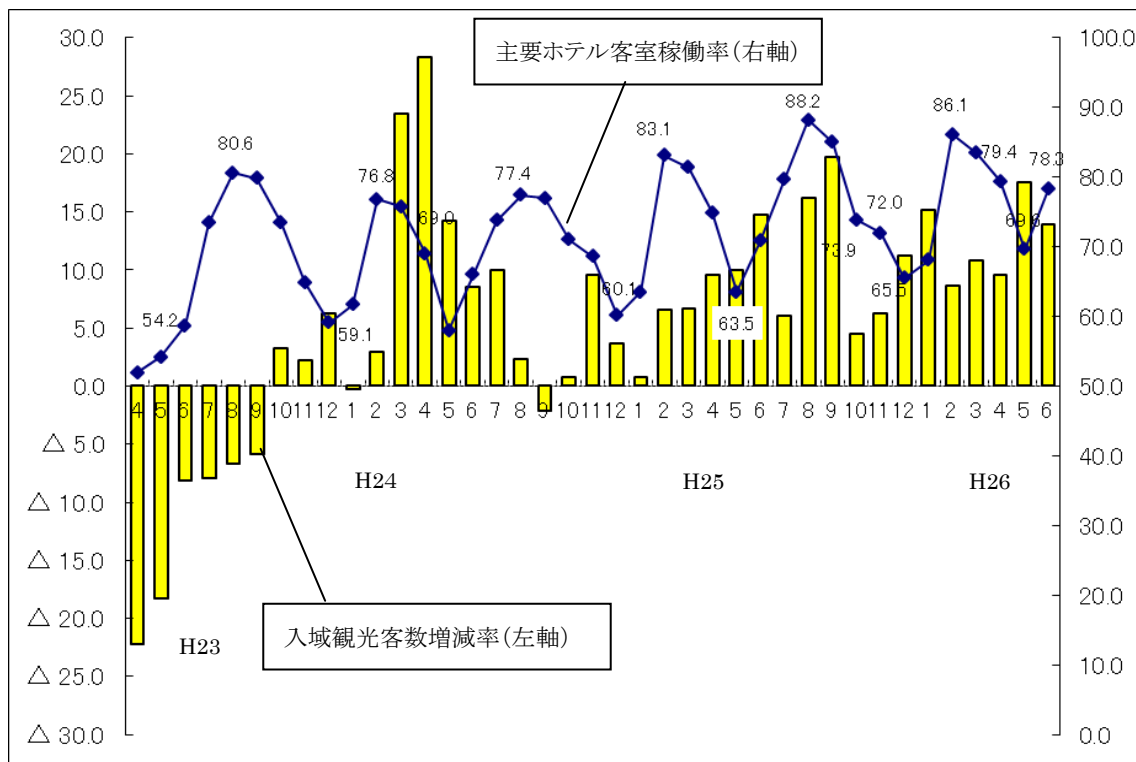
【物価】

- ・ 消費者物価指数は、消費税率引き上げの影響を受けて、前年を上回って推移している。
(消費者物価指数 +3.0)

- 以上のように、観光関連については、航空路線拡充等により、前年を上回って推移している。個人消費については、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響から、百貨店・スーパー・コンビニ売上高は既存店で前年を下回ったが、全店舗では前年を上回っている。また、建設は前年を大きく上回って推移し、雇用情勢も改善傾向にあることから「景気は、拡大している。」(前回と同様)とみられる。

① 観光

- 入域観光客数は、平成24年10月以降21ヶ月連続で前年同月比を上回り、好調に推移している。
- 主要ホテル客室稼働率は、前年を上回って推移している。

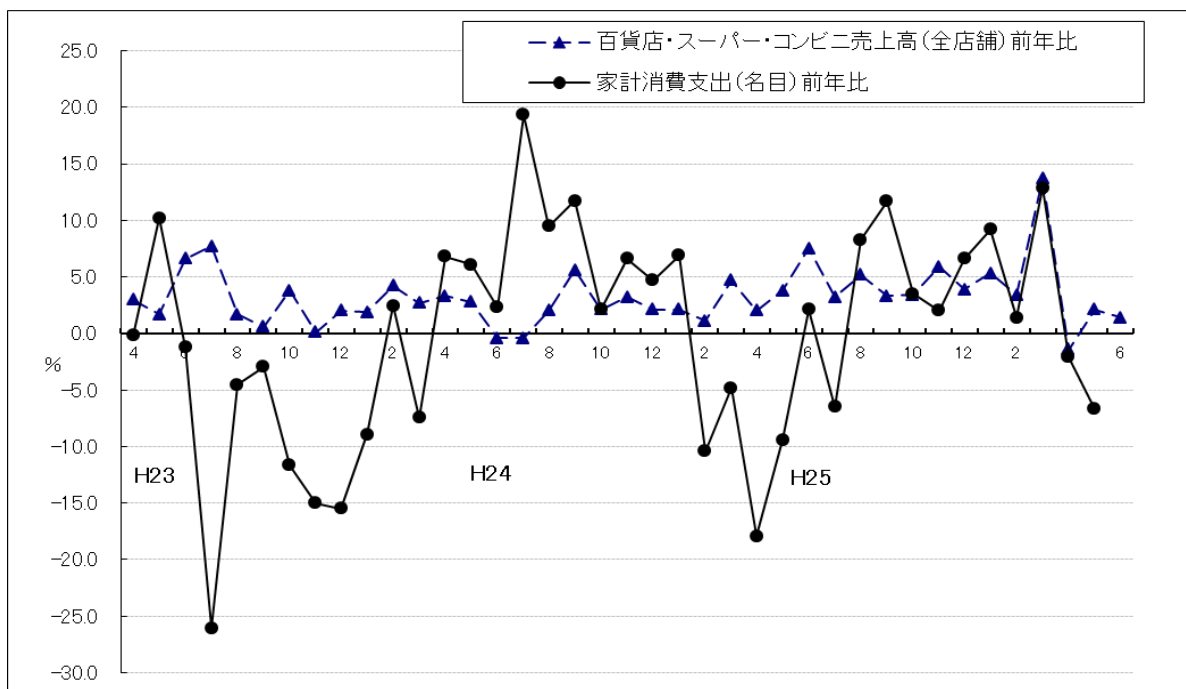


	入域観光客数						主要ホテル客室稼働率		観光施設
	総数		国内客		外国客		%	前年差※	入場者数
	(百人)	前年比※	(百人)	前年比	(百人)	前年比			
H25.4-6	14,830	11.4	13,112	7.3	1,718	57.0	69.7	5.4	—
H25.7-9	18,968	13.9	17,100	12.5	1,868	28.4	84.3	8.2	—
H25.10-12	15,721	7.2	14,446	2.9	1,275	102.7	70.4	3.9	—
H26.1-3	16,284	11.4	14,873	6.5	1,411	118.1	79.0	3.2	—
H26.4-6	16,843	13.6	14,232	8.5	2,611	52.0	75.7	6.0	—
H25.4月	5,163	9.6	4,664	6.8	499	45.5	74.9	5.9	10.2
5月	4,776	10.0	4,182	6.1	594	47.4	63.5	5.5	7.3
6月	4,891	14.7	4,266	8.9	625	79.6	70.8	4.8	18.1
7月	5,839	6.1	5,187	7.5	652	△ 4.0	79.7	5.9	7.3
8月	7,055	16.2	6,451	14.8	604	33.9	88.2	10.8	16.3
9月	6,074	19.7	5,462	15.0	612	88.3	85.0	8.0	21.4
10月	5,430	4.5	4,852	△ 0.6	578	83.5	73.9	2.9	1.4
11月	5,136	6.3	4,801	2.4	335	134.3	72.0	3.4	1.7
12月	5,155	11.2	4,793	7.4	362	111.7	65.5	5.4	8.9
H26.1月	4,951	15.2	4,470	7.9	481	208.3	68.1	4.6	5.7
2月	5,031	8.6	4,588	4.6	443	80.8	86.1	3.0	△ 0.7
3月	6,302	10.8	5,815	6.8	487	98.0	83.4	2.0	5.5
4月	5,656	9.5	4,917	5.4	739	48.1	79.4	4.5	8.7
5月	5,614	17.5	4,697	12.3	917	54.4	69.6	6.1	9.5
6月	5,573	13.9	4,618	8.3	955	52.8	78.3	7.5	10.4

※本資料において「前年比」は、四半期指標が「前年同期比」、月次指標が「前年同月比」である。
また「前年差」についても同様に、四半期指標が「前年同期差」、月次指標が「前年同月差」である。

② 個人消費

- 百貨店・スーパー・コンビニ売上高は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減の影響もあり、既存店は前年を下回ったが、新規出店効果などから全店舗では前年を上回っている。
- 家電製品販売額は、消費税率引き上げの反動減により、3ヶ月連続で前年を下回っている。
- 自動車(新車)の販売は、総台数、軽自動車ともに前年を上回っている。



	百貨店・スーパー・コンビニ売上高(前年比)		家電製品販売額 前年比	自動車販売(新車)			家計消費支出(名目)		実収入(名目)		
	既存店	全店舗		総台数		うち軽自動車		(円)	前年比	(円)	前年比
			(台)	前年比	(台)	前年比					
H25, 4-6	0.9	4.5	△ 1.0	12,600	7.4	6,555	△ 0.7	208,398	△ 9.1	390,548	△ 16.4
H25, 7-9	2.3	3.9	△ 0.4	13,098	3.8	6,897	5.7	236,125	4.1	360,172	△ 7.3
H25, 10-12	2.3	4.4	2.5	10,271	23.9	6,031	20.0	227,540	4.1	442,306	△ 5.6
H26, 1-3	5.5	7.7	34.8	14,717	22.1	8,004	19.2	228,871	8.0	369,231	3.9
H26, 4-6	△ 1.0	0.7	△ 11.9	12,949	2.8	7,034	7.3	-	-	-	-
H25.4月	△ 1.4	2.0	△ 12.8	3,763	13.2	2,192	10.8	208,847	△ 17.9	347,093	△ 10.9
5月	0.2	3.8	△ 0.7	3,217	0.5	2,109	0.9	202,450	△ 9.4	303,717	△ 15.4
6月	3.9	7.5	9.3	5,620	7.8	2,254	△ 11.0	213,896	2.1	520,833	△ 20.3
7月	1.9	3.2	△ 10.9	6,267	△ 3.7	2,605	△ 4.2	225,859	△ 6.5	410,841	△ 7.4
8月	3.7	5.2	10.6	3,023	5.8	1,907	8.7	247,614	8.3	352,856	△ 3.4
9月	1.2	3.3	2.2	3,808	17.2	2,385	16.5	234,902	11.7	316,820	△ 11.0
10月	1.1	3.4	0.1	3,226	23.5	1,916	13.9	220,300	3.5	371,120	△ 7.8
11月	3.8	5.9	5.1	3,356	21.9	2,110	20.9	208,407	2.0	317,934	△ 9.9
12月	2.2	3.9	2.5	3,689	26.1	2,005	25.3	253,913	6.6	637,863	△ 2.0
H26.1月	3.1	5.3	5.6	3,929	35.4	2,402	25.2	245,613	9.2	354,041	7.6
2月	1.3	3.4	17.3	4,307	14.1	2,439	18.6	198,904	1.4	413,266	2.2
3月	11.5	13.7	72.6	6,481	20.5	3,163	15.6	242,096	12.9	340,385	2.3
4月	△ 3.4	△ 1.4	△ 20.1	3,590	△ 4.6	2,298	4.8	204,552	△ 2.1	359,649	0.4
5月	0.4	2.1	△ 10.1	3,284	2.1	2,180	3.4	188,814	△ 6.7	309,101	1.8
6月	△ 0.1	1.4	△ 7.6	6,075	8.1	2,556	13.4	-	-	-	-

③ 建設関連

- 住宅着工は、戸数・面積ともに前年を上回っている。非居住建築物は面積・工事費ともに前年を大幅に上回っている。
- 公共工事請負保証は、件数、保証額ともに前年を上回っている。
- 主要建設会社受注額は、前年を上回っている。
- 建設資材価格は、平成 24 年 12 月以降 19 ヶ月連続で上昇している。

	住宅着工				非居住建築物			
	戸数	前年比	面積(m ²)	前年比	面積(m ²)	前年比	工事費(百万円)	前年比
H25. 4-6	3,002	△ 5.6	230,495	△ 12.6	181,718	△ 22.3	28,096	△ 35.5
H25. 7-9	5,356	43.7	402,413	41.1	221,226	25.4	41,954	46.3
H25. 10-12	4,912	45.8	375,553	47.8	151,048	△ 18.9	30,054	△ 6.6
H26. 1-3	3,903	16.6	299,075	8.8	241,627	6.2	46,112	9.0
H26. 4-6	3,966	32.1	298,101	29.3	334,125	83.9	55,904	99.0
H25.4月	1,041	△ 2.0	77,143	△ 10.5	41,427	△ 26.4	6,705	△ 24.0
5月	893	△ 23.3	69,012	△ 25.0	63,447	△ 33.7	9,716	△ 48.5
6月	1,068	11.9	84,340	△ 1.5	76,844	△ 6.2	11,675	△ 26.4
7月	1,777	32.2	139,112	33.7	48,599	△ 13.6	9,796	△ 2.0
8月	1,565	28.8	119,941	28.6	58,600	△ 14.0	11,376	14.0
9月	2,014	72.4	143,360	63.0	114,027	119.1	20,782	138.4
10月	1,580	29.2	123,943	33.4	69,838	△ 5.3	14,884	12.3
11月	1,895	60.1	142,642	61.4	36,323	△ 27.3	6,549	△ 15.6
12月	1,437	49.5	108,968	49.7	44,887	△ 28.1	8,621	△ 22.9
H26.1月	1,065	△ 1.7	78,113	△ 8.7	61,206	△ 26.3	10,158	△ 20.0
2月	1,298	11.7	101,219	2.1	80,673	2.3	11,943	11.0
3月	1,540	39.6	119,743	32.9	99,748	51.9	24,011	27.3
4月	1,418	36.2	114,885	48.9	218,669	427.8	35,532	429.9
5月	1,116	25.0	82,030	18.9	51,738	△ 18.5	10,455	7.6
6月	1,432	34.1	101,186	20.0	63,718	△ 17.1	9,917	△ 15.1

	公共工事請負保証				主要建設会社 受注額(前年比)	建設資材価格 (那覇, H17=100)
	件数	前年比	額(百万円)	前年比		
H25. 4-6	669	13.0	47,315	35.0	4.9	114.4
H25. 7-9	1,452	7.3	85,199	△ 1.4	13.7	114.8
H25. 10-12	1,462	7.5	67,999	6.5	△ 17.2	116.2
H26. 1-3	762	△ 20.8	62,833	△ 5.2	20.1	117.6
H26. 4-6	740	10.6	62,407	31.9	65.3	118.1
H25.4月	198	55.9	16,255	78.3	88.4	114.3
5月	182	4.0	10,742	5.3	△ 44.5	114.4
6月	289	△ 0.3	20,318	29.2	87.6	114.5
7月	472	27.9	39,391	39.0	95.3	114.5
8月	468	7.6	22,626	△ 13.4	△ 42.6	114.6
9月	512	△ 6.7	23,182	△ 27.5	44.3	115.2
10月	573	10.0	31,327	6.4	15.9	115.8
11月	440	△ 3.5	19,880	2.5	12.1	116.1
12月	449	17.2	16,792	12.0	△ 57.2	116.7
H26.1月	311	△ 17.1	20,056	△ 3.4	213.4	117.3
2月	282	△ 4.1	21,681	16.6	38.0	117.7
3月	169	△ 42.3	21,096	△ 21.6	△ 45.0	117.7
4月	244	23.2	22,973	41.3	151.8	118.1
5月	190	4.4	19,683	83.2	△ 0.1	118.1
6月	306	5.9	19,751	△ 2.8	16.9	118.2

④ 雇用情勢

- 労働力人口、就業者数ともに、前年を上回っている。
- 完全失業率(原数値)は、前年を下回り、改善している。
- 求職者数は、前年を下回って推移している。また、求人数は、前年を上回って推移している。
- 有効求人倍率は、前年を上回って推移している。6月の有効求人倍率0.68は、月間の有効求人倍率の復帰後最高値となった。

	労働力人口		就業者数		完全失業者数		完全失業率(原数値)		完全失業率(季調値)	
	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(%)	前年差	(%)	前期差
H25, 4-6	673	4	631	15	42	△ 11	6.3	△ 1.6	5.8	△ 0.2
H25, 7-9	686	3	645	4	41	△ 1	6.0	△ 0.1	6.2	0.4
H25, 10-12	692	8	659	17	33	△ 9	4.7	△ 1.4	4.9	△ 1.3
H26, 1-3	685	9	651	16	33	△ 7	4.9	△ 1.2	5.0	0.1
H26, 4-6	673	0	636	5	37	△ 5	5.5	△ 0.8	5.1	△ 0.7
H25.4月	672	△ 2	622	8	50	△ 10	7.4	△ 1.5	6.8	0.8
5月	673	7	630	19	44	△ 11	6.5	△ 1.8	5.8	△ 1.0
6月	674	6	641	17	33	△ 11	4.9	△ 1.7	4.9	△ 0.9
7月	688	2	646	△ 2	42	4	6.1	0.6	6.8	1.9
8月	694	12	648	9	46	3	6.6	0.3	6.5	△ 0.3
9月	675	△ 4	640	6	36	△ 9	5.3	△ 1.3	5.3	△ 1.2
10月	691	15	657	21	34	△ 6	4.9	△ 1.0	5.1	△ 0.2
11月	694	11	661	18	33	△ 7	4.8	△ 1.1	5.1	0.0
12月	690	△ 3	659	12	31	△ 15	4.5	△ 2.1	4.5	△ 0.6
H26.1月	694	12	661	24	33	△ 12	4.8	△ 1.8	4.6	0.1
2月	681	3	649	9	32	△ 6	4.7	△ 0.9	4.9	0.3
3月	679	11	644	15	35	△ 4	5.2	△ 0.6	5.5	0.6
4月	670	△ 2	631	9	39	△ 11	5.8	△ 1.6	5.1	△ 0.4
5月	663	△ 10	627	△ 3	36	△ 8	5.4	△ 1.1	4.8	△ 0.3
6月	687	13	651	10	36	3	5.2	0.3	5.5	0.7

	有効求職者数(季調値)		有効求人数(季調値)		有効求人倍率(季調値)		現金給与総額指数		所定外労働時間指数	
	(人)	前年差	(人)	前年差	(倍)	前年差	(H22=100)	前年比	(H22=100)	前年比
H25, 4-6	32,576	△ 6,983	16,608	1,776	0.51	0.11	106.1	1.7	112.2	4.7
H25, 7-9	32,094	△ 3,680	17,819	3,391	0.56	0.14	98.2	△ 0.5	110.3	2.8
H25, 10-12	31,440	△ 3,039	19,010	4,970	0.61	0.19	114.4	△ 3.5	114.6	△ 2.8
H26, 1-3	31,198	△ 2,822	19,516	3,847	0.63	0.16	88.6	△ 3.8	112.0	△ 9.1
H26, 4-6	29,752	△ 2,824	19,296	2,688	0.65	0.14	88.6	△ 17.6	115.5	3.3
H25.4月	32,606	△ 8,254	16,352	1,373	0.50	0.12	92.7	2.0	121.1	10.2
5月	32,662	△ 7,150	16,714	1,737	0.51	0.10	91.1	2.6	111.3	4.0
6月	32,461	△ 5,545	16,757	2,218	0.52	0.11	134.5	0.8	104.2	△ 1.3
7月	32,222	△ 4,699	17,427	3,275	0.54	0.13	111.4	1.4	109.9	1.3
8月	32,103	△ 3,591	17,843	3,225	0.56	0.14	95.0	△ 2.3	114.1	6.6
9月	31,958	△ 2,750	18,188	3,674	0.57	0.16	88.3	△ 0.8	107.0	0.0
10月	31,302	△ 3,488	18,338	3,523	0.59	0.18	88.8	△ 1.8	108.5	△ 8.3
11月	31,609	△ 1,832	18,864	4,555	0.60	0.19	89.9	△ 3.5	116.9	5.0
12月	31,410	△ 3,797	19,827	6,833	0.63	0.21	164.5	△ 3.3	118.3	△ 3.4
H26.1月	31,480	△ 2,944	19,864	4,430	0.63	0.18	86.5	△ 4.4	112.7	△ 1.2
2月	31,284	△ 2,986	19,369	3,682	0.62	0.16	86.7	△ 3.7	111.3	△ 7.0
3月	30,831	△ 2,536	19,316	3,429	0.63	0.15	92.7	△ 4.1	128.2	△ 1.1
4月	30,410	△ 2,196	19,377	3,025	0.64	0.14	89.5	△ 3.5	118.3	△ 2.3
5月	29,669	△ 2,993	18,735	2,021	0.63	0.12	87.6	△ 3.5	112.7	△ 2.3
6月	29,178	△ 3,283	19,776	3,019	0.68	0.16	-	-	-	-

⑤ 物価

- 消費者物価指数は平成 25 年 6 月以降、13 ヶ月連続で前年を上回って推移している。今期は、消費税引き上げの影響により、前年を 3 ポイント上回っている。
- レギュラーガソリン小売価格は、円安の影響等もあり前年を上回って推移している。

	消費者物価指数 (H22)			レギュラーガソリン		
	総合	前年比	前月比	うち食料円/リットル	前年差	前月差
H25.4	-600.5	△0.1		98.8	152	2
H25.7	-901.2	0.8		100.7	156	17
H25.10	-1120.4	1.3		101.8	155	12
H26.1	-301.3	1.2		101.0	157	8
H26.4	-603.5	3.0		103.4	163	12
H25.4月	00.5	△0.3	0.3	98.8	154	3
5月	100.5	△0.2	0.0	99.0	151	△1
6月	100.4	0.1	△0.1	98.7	150	5
7月	100.8	0.5	0.4	99.6	152	12
8月	101.5	1.0	0.7	100.9	158	21
9月	101.3	0.8	△0.2	101.5	159	17
10月	101.5	1.2	0.1	102.0	157	11
11月	101.4	1.3	△0.1	101.6	155	12
12月	101.4	1.4	0.0	101.7	153	13
H26.1月	101.3	1.4	△0.1	101.4	156	11
2月	101.1	1.0	△0.2	101.0	158	9
3月	101.4	1.2	0.3	100.5	157	4
4月	103.3	2.8	1.9	103.6	162	8
5月	103.6	3.1	0.3	103.4	163	12
6月	103.6	3.2	0.0	103.2	165	15

⑥ 金融

- 地方銀行等の実質預金・貸出金は、前年を上回って推移している。
- 貸出金利は、緩やかに低下している。

	預金・貸出金残高(県内5行庫計)					地方銀行貸出約定平均金利	
	実質預金(A)		貸出金(B)		比率 (B/A) ※	全国 (%)	沖縄(地元3行貸出 約定平均金利) 月末水準(%)
	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)			
H25.4-6	41,598	2.9	28,458	2.9	0.68	1.404	2.128
H25.7-9	42,271	4.3	28,728	3.7	0.68	1.375	2.093
H25.10-12	41,934	3.9	29,100	4.2	0.69	1.353	2.065
H26.1-3	41,578	3.3	29,636	4.5	0.71	1.328	2.016
H26.4-6	42,915	3.2	29,871	5.0	0.70	1.305	1.993
H25.4月	41,513	2.8	28,544	2.3	0.69	1.422	2.152
5月	41,261	2.9	28,340	2.9	0.69	1.411	2.140
6月	42,020	3.1	28,489	3.4	0.68	1.404	2.128
7月	42,400	3.9	28,577	3.5	0.67	1.393	2.117
8月	42,055	4.3	28,698	3.9	0.68	1.387	2.106
9月	42,358	4.7	28,908	3.7	0.68	1.375	2.093
10月	41,811	4.2	28,994	4.0	0.69	1.370	2.087
11月	41,979	4.1	29,027	4.2	0.69	1.365	2.083
12月	42,011	3.4	29,278	4.3	0.70	1.353	2.065
H26.1月	41,764	3.4	29,447	4.6	0.71	1.348	2.059
2月	41,388	3.3	29,569	4.6	0.71	1.340	2.049
3月	41,581	3.1	29,893	4.5	0.72	1.328	2.016
4月	42,663	2.8	29,838	4.5	0.70	1.320	2.019
5月	42,714	3.5	29,738	4.9	0.70	1.310	2.002
6月	43,369	3.2	30,035	5.4	0.69	1.305	1.993

※ 実質預金に対する貸出金の割合。この比率は、県企画部企画調整課で算出したものである。

⑦ 関係機関による景況調査等

- 景況については、短期経済観測調査、法人企業景気予測調査、県内企業景気調査の全てで、現況・見通しともにプラスで推移すると判断している。
- 雇用については、全ての調査において、現況・見通しともに人員が不足するとの判断となっている。

※各調査は、調査対象や内容等に違いがあるため、調査同士の比較には注意を要する。

※DIは、回答の構成割合の差と定義される。例えば景況DIは、良いとの回答割合から悪いとの回答割合を差し引いたものである。

景況(業況)DI(良い-悪い)	短期経済観測調査	法人企業景気予測調査	県内企業景況調査
H25, 4-6	11	7.8	11.5
H25, 7-9	24	16.5	20.5
H25, 10-12	18	11.8	18.3
H26,1-3	28	18.2	25.7
H26,4-6(※現況)	25 (11)	0.0 (△13.6)	8.6 (2.6)
H26, 7-9(見通し)	22	27.3	9.8

※1 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDIである。

雇用DI(過剰-不足)※1	短期経済観測調査	法人企業景気予測調査	県内企業景況調査
H25, 4-6	△9	△6.9	△11.0
H25, 7-9	△13	△18.3	△13.8
H25, 10-12	△17	△20.2	△19.5
H26,1-3	△18	△25.7	△24.2
H26,4-6(※現況)	△21 (△11)	△20.2 (△6.4)	△17.8 (△14.9)
H26,7-9(見通し)	△22	△18.5	△20.1

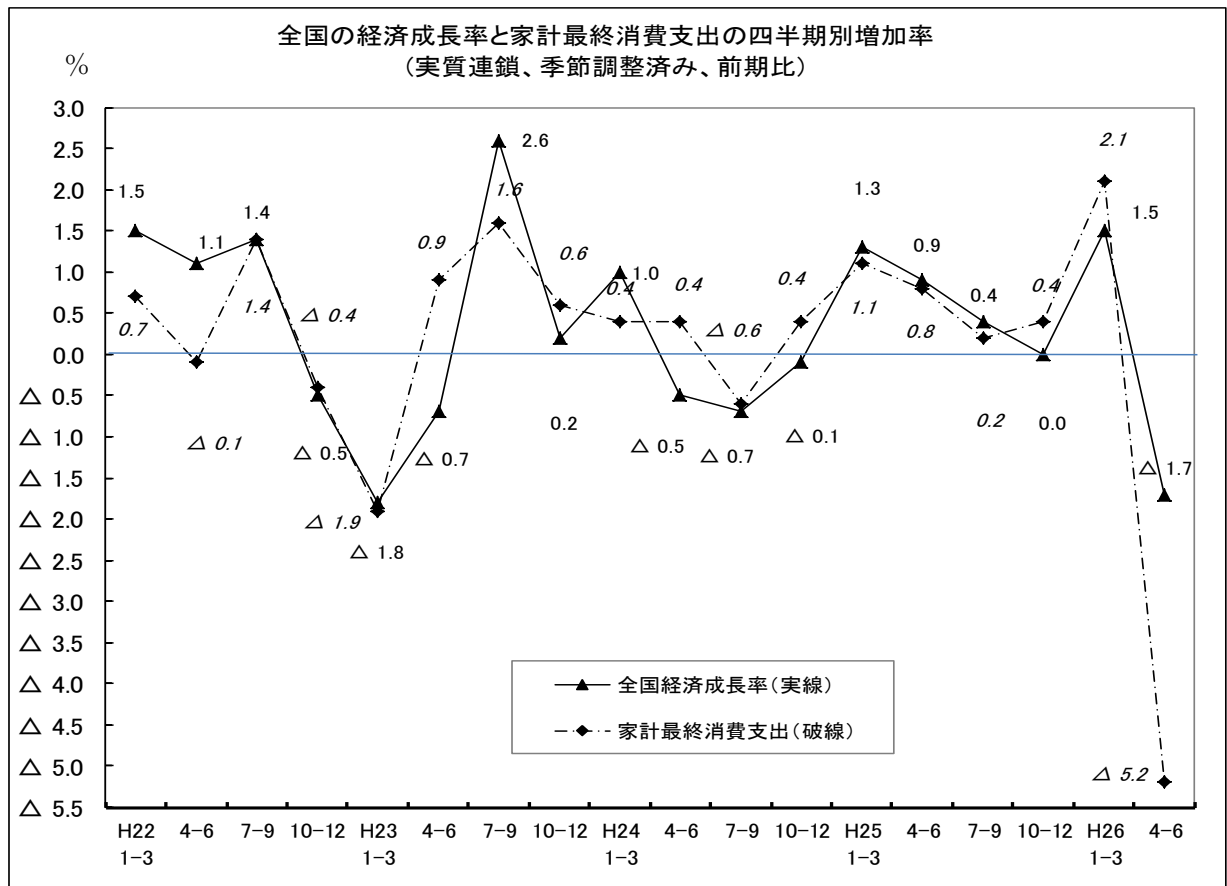
※1 法人企業景気予測調査と県内企業景況調査の原資料においては、(不足-過剰)とDIを定義しているが、本資料では短期経済観測調査の表記に合わせて、DIの符号を反転し、全て(過剰-不足)のDIとして掲載している。

※2 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDIである。

⑧ その他

- 鉱工業指数は、生産指数、出荷指数ともに前期を上回っている。
- 電力使用量は、全体の電力使用量は前年を下回っているが、大口電力使用量は前年を上回っている。
- 企業倒産の発生状況は、件数、負債総額ともに前年を下回っている。
- 全国の4～6月期の経済成長率、家計最終消費支出は、前期を下回っている。

項目 年月	鉱工業指数 (季節調整済指数)				電力使用量(前年比、%)				企業倒産 (負債総額1千万円以上)				
	生産指数		出荷指数		電力使用量		(うち)大口電力使用量		全国		沖縄		
	H22=100	前期比	H22=100	前期比	千KWH	前年比	千KWH	前年比	件数	億円	件数	百万円	前年比(%)
H25.4-6	106.8	3.1	103.5	0.7	579,627	1.0	69,346	0.2	947	4,143	7.7	1,739	186.2
H25.7-9	100.2	△ 6.2	92.8	△ 10.3	781,667	3.5	78,224	2.6	888	1,853	8.7	858	△ 1.5
H25.10-12	97.9	△ 2.3	100.5	8.3	619,384	5.8	72,941	5.5	857	1,425	4.7	2,902	275.2
H26.1-3	102.7	4.9	96.9	△ 3.6	537,903	2.8	64,679	3.8	820	1,828	6.0	697	△ 90.5
H26.4-6	104.9	2.1	106.8	10.2	568,823	△ 1.9	71,764	3.5	871	1,686	4.7	1,362	△ 21.7
H25.4月	104.6	△ 5.4	100.6	△ 8.5	535,622	△ 0.7	63,680	1.3	899	6,860	10	3,295	271.5
5月	109.0	4.2	108.8	8.2	544,758	△ 2.1	71,744	0.0	1,045	1,733	6	603	△ 17.3
6月	106.8	△ 2.0	101.0	△ 7.2	658,502	5.2	72,615	△ 0.5	897	3,837	7	1,320	537.7
7月	98.8	△ 7.5	88.2	△ 12.7	729,647	1.4	76,643	1.3	1,025	1,995	9	1,083	△ 33.6
8月	105.5	6.8	97.0	10.0	818,186	4.6	78,861	3.4	819	1,662	9	519	28.1
9月	96.3	△ 8.7	93.3	△ 3.8	797,167	4.3	79,168	3.1	820	1,902	8	971	68.0
10月	92.6	△ 3.8	86.7	△ 7.1	701,794	11.9	75,533	6.0	959	1,553	6	4,376	922.4
11月	101.9	10.0	105.3	21.5	611,157	4.5	73,302	4.9	862	1,378	5	419	71.7
12月	99.3	△ 2.6	109.5	4.0	545,200	0.2	69,989	5.4	750	1,343	3	3,910	137.3
H26.1月	97.9	△ 1.4	101.0	△ 7.8	592,670	5.3	65,124	4.7	864	3,151	7	1,492	△ 92.8
2月	92.6	△ 5.4	87.2	△ 13.7	513,442	0.5	59,746	△ 1.8	782	1,162	4	214	△ 47.3
3月	117.6	27.0	102.5	17.5	507,597	2.2	69,168	8.1	814	1,170	7	386	△ 52.5
4月	104.5	△ 11.1	104.1	1.6	527,476	△ 1.5	70,537	10.8	914	1,411	3	1,314	△ 60.1
5月	105.2	0.7	109.4	5.1	553,173	1.5	69,670	△ 2.9	834	1,726	6	683	13.3
6月	-	-	-	-	625,821	△ 5.0	75,084	3.4	865	1,920	5	2,090	58.3



<参考> 関係機関による景況判断

県内景況は拡大基調にある。また、国内景況は上方修正されている。

	内閣府 (月例経済報告: 全国)	内閣府 (地域経済動向) 四半期	日銀那覇支店	りゅうぎん総研	おきぎん経研	沖縄県
公表25/6 (指標4月)	景気は、着実に持ち直している。		県内景気は、地域や規模等ではばらつきがみられるものの、全体として拡大している。	景気は、緩やかに拡大している。	個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている。	
公表25/7 (指標5月)	景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。		県内景気は、地域や規模等ではばらつきがみられるものの、全体として拡大している。	景気は、緩やかに拡大している。	県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きが見られる。	
公表25/8 (指標6月)	景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。	景気は、回復している。	県内景気は、地域や規模等ではばらつきがみられるものの、全体として拡大している。	景気は、拡大している。	県内景況は、拡大の動きがみられる。	景気は、拡大している。
公表25/9 (指標7月)	景気は、緩やかに回復しつつある。		県内景気は、地域や規模等ではばらつきがみられるものの、全体として拡大している。	景気は、拡大している。	県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きが見られる。	
公表25/10 (指標8月)	景気は、緩やかに回復しつつある。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大している。	県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きが見られる。	
公表25/11 (指標9月)	景気は、緩やかに回復しつつある。	景気は、回復している。	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大している。	県内景況は、拡大の動きが強まる。	景気は、拡大している。
公表25/12 (指標10月)	景気は、緩やかに回復しつつある。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大の動きが強まる。	
公表26/1 (指標11月)	景気は、緩やかに回復している。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大の動きが強まる。	
公表26/2 (指標12月)	景気は、緩やかに回復している。	景気は着実に回復している。	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大の動きが強まる。	景気は、拡大している。
公表26/3 (指標1月)	景気は、緩やかに回復している。また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要が強まっている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大の動きが強まる。	
公表26/4 (指標2月)	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きも見られる。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。	
公表26/5 (指標3月)	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きも見られる。	景気は基調として着実に回復しているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きがさらに強まる。	県内景況は、拡大している。	景気は、拡大している。
公表26/6 (指標4月)	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きも見られる。		県内景気は、消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも、基調としては全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる中、一部に一服感。	県内景況は、拡大している。	
公表26/7 (指標5月)	景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。		県内景気は、全体として拡大している。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動については、非耐久消費財を中心に和らいできている。	景気は、拡大の動きが強まる中、一部に一服感。	県内景況は、拡大している。	
公表26/8 (指標6月)			県内景気は、全体として拡大している。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動については、非耐久消費財を中心に和らいできている。	景気は、拡大の動きが強まる中、一部に一服感。	県内景況は、拡大している。	景気は、拡大している。
公表時期	毎月下旬	月末(3ヶ月毎)	毎月月上旬	毎月下旬	毎月下旬	月中旬(3ヶ月毎)

※ 月例経済報告(内閣府)においては、公表月の2ヶ月前の指標に加え、公表日までにご得られた指標等も併せて判断している。

※ 地域経済動向(内閣府)においては、公表月の前月までの指標等も併せて判断している。

出 典 一 覧

項 目	出 典
①観光	
入城観光客数	県文化観光スポーツ部観光政策課
主要ホテル客室稼働率	日本銀行那覇支店
観光施設入場者数	りゅうぎん総合研究所
②個人消費	
百貨店・スーパー・コンビニ売上高	日本銀行那覇支店
家電製品販売額	日本銀行那覇支店
自動車販売	自動車販売協会
家計消費支出(二人以上の世帯)	県企画部統計課
③建設関係	
住宅着工	国土交通省
非居住建築物	国土交通省
公共工事請負保証	西日本建設業保証(株)
主要建設会社受注額	日本銀行那覇支店
建設資材価格指数	財団法人経済調査会
④雇用情勢	
労働力調査 (労働力人口、就業者数、完全失業者数、完全失業率)	県企画部統計課
雇用の動き (求職者数、求人数、有効求人倍率)	沖縄労働局
毎月勤労統計調査 (現金給与総額指数、所定外労働時間指数)	県企画部統計課
⑤物価	
消費者物価指数	県企画部統計課
レギュラーガソリン小売価格	経済産業省 資源エネルギー庁
⑥金融	
預金・貸出金残高(県内5行庫計)	日本銀行那覇支店
地方銀行・約定平均金利(全国)	日本銀行
地元3行貸出約定平均金利(沖縄)	日本銀行那覇支店
⑦関係機関における景況調査等	
県内企業短期経済観測調査	日本銀行那覇支店
法人企業景気予測調査	沖縄総合事務局財務部
県内企業景況調査	沖縄振興開発金融公庫
設備投資計画調査	沖縄振興開発金融公庫
⑧その他	
鉱工業指数	県企画部統計課
電力使用量	電気事業連合会
企業倒産	東京商工リサーチ
全国の経済成長率等	内閣府